

教科（科目）	芸術（書道Ⅰ）	単位数	2単位	学年（コース）	1学年 選択必修
使用教科書	教育図書「書Ⅰ」「書Ⅰプライマリーブック」				
副教材等	硬筆レッスン帳				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成します。 ① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。 ② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。 ③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。 ④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。 ① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。 ② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。 ③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。 ④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。

2 学習目標

<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>領域毎の基礎的な書写技能の充実を目指す。</p> <p>書の鑑賞の仕方、歴史を学び、身の回りの書について理解を深める。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現、鑑賞を通じ実感的に理解できる。</p> <p>意図に基づいて構想し、表の工夫を身に付けようとしている。</p>	<p>書の良さ、美しさを直感的に認知し、知識・技能を生かし書の意味、価値、味わいを追求できるようにしている。</p>	<p>書に接し、書を生涯にわたって愛好できるよう表現、鑑賞を一体的に取り組もうとしている。</p>

5 評価規準と評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	上記の観点を踏まえ、 ・臨書作品 ・用筆法の確認 などから評価します。	上記の観点を踏まえ ・ワークシート ・授業中の取組 などから評価します。	上記の観点を踏まえ ・制作中の態度 ・提出物 ・出欠状況 などから評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4月	オリエンテーション		年間計画や評価方法についての説明	1	
5月	硬筆 書の美について	硬筆 ノート	・姿勢、用筆法など基本事項 ・楷書、行書の成り立ちについて	13	出席状況 取組状況 作品
6月	・楷書 ・隸書	教科書	・漢字古典の成り立ちや鑑賞 ・臨書	10	出席状況 取組状況 作品
7月					
8月	行書	教科書	・漢字古典の成り立ちや鑑賞 ・臨書	8	出席状況 取組状況 作品
9月					
10月	篆書	教科書	・漢字古典の成り立ちや鑑賞 ・臨書	6	出席状況・取組状況 作品
11月	篆刻		・篆書と関連づけて自用印の制作 ・印刀の使い方	6	出席状況・取組状況 作品
12月	漢字 仮名	教科書	・小筆の使い方 ・日本独特の仮名様式の表現を習得する	12	出席状況 取組状況 作品
1月					
2月	漢字 仮名交じり書	教科書	・小筆の使い方 ・日本独特の仮名様式の表現を習得する ・基本的な表現の中に自らの感興を込める	7	出席状況 取組状況 作品
3月	まとめ		書道Ⅰのまとめ	1	

計 6 4 時間（55分授業）

7 課題・提出物等

毎時間、添削または作品の提出
硬筆レッスン帳の提出

8 担当者からの一言

書の美への導入、書の特性、学習全体像へのアプローチの仕方などの理解をできよう頑張らしましょう。